

第4課 私たちの忠実な兄弟、イエス様 1月22日

1. 親類の贖い主

- ①レビ記 25 章 25、47～49 節とヘブライ人への手紙 2 章 14～16 節を比較してください。
- ②イエス様は、私たちが負っている負い目を、いかに支払われましたか？
- ③私たちの親類の贖い主のこの恵み深い働きは、いかに、神様の計り知れない、朽ちない愛を啓示していますか？

2. 私たちを兄弟姉妹と呼ぶことを恥とせず

- ①ヘブライ人への手紙 2 章 11 節。なぜ、イエス様は、私たちを兄弟姉妹と呼ぶことを恥となさらなかったのですか？
- ②モーセの決心は、いかに、私たちの救い主イエス様の働きを予告していましたか？ ヘブライ人への手紙 11 章 24～26 節。
- ③人類家族と一つになるという神様の御子の謙遜に対する、適切な応答はどんなものですか？ マタイによる福音書 10 章 32～33 節、テモテへの手紙 2・1 章 8、12 節、ヘブライ人への手紙 13 章 12～15 節。
- ④イエス様に従う者として自分を恥じた、聖書の登場人物を思い起こしてください。その物語から、何を学ぶことができますか？
- ⑤イエス様に従う者であることを隠そうというプレッシャーを感じた時のことをシェアしてください。あなたは、いかに応答しましたか？

3. 私たちと同じような肉と血となられて

- ①ヘブライ人への手紙 2 章 14 節。なぜ、私たちの救い主は、私たちのような肉と血になる必要があったのですか？ なぜ、彼は、天の王室から、救いの宣言をするだけでは十分でなかったのですか？（ヘブライ人への手

紙 2 章 9 節、ヨハネによる福音書 1 章 14 節を参照）

- ②私たちの救い主は、肉となり、私たちの間に住まわれた時、どんな限界を経験されましたか？ ヘブライ人への手紙 2 章 17 節上句。
- ③人類家族と完全に同じでありながら、私たちの救い主、受肉した神様の御子イエス様は、いかに、私たちと異なっていましたか？ ヘブライ人への手紙 4 章 15 節、7 章 26 節、ルカによる福音書 1 章 34～35 節。

4. 苦しみを通して完全な者とされる

- ①ヘブライ人への手紙 2 章 10、17、18 節。これらの聖句に共通しているテーマは、何ですか？
- ②私たちの救い主として、イエス様が耐えられた、最も大きな苦しみは何ですか？
- ③イエス様は、いかに、「苦しみを通して完全な者とされた」のですか？
- ④フィリピの信徒への手紙 3 章 8～11 節における、パウロの宣言について、どう思いますか？
- ⑤苦しみには、それ自体、徳はありません。「義のために苦しむ」とは、どういう意味ですか？

5. 完璧な模範

- ①ヘブライ人への手紙 12 章 1～3 節。私たちの目をイエス様から離さないことは、なぜ、絶対的に重要なのですか？
- ②イエス様の、最初の弟子たちへの召しは、「わたしに従いなさい」でした。この訴えは、今日、私たちの生活に、どんな意味がありますか？
- ③イエス様に従う者として、私たちの模範は、周りにいる人々の生活を、いかに祝福しますか？ マタイによる福音書 5 章 14～16 節。